

## 中央手術部

### 1. スタッフ（平成26年4月1日現在）

部長（准教授）堀江 久永  
副部長（准教授）五十嵐 孝  
医員（講師）丹羽 康則

### 2. 中央手術部の特徴

自治医科大学中央手術部は昭和47年に開設され、平成14年8月新棟竣工とともに新館手術室へ移転し現在に至っている。手術室の構造は回収廊下型となっており、清浄度クラス1000の手術室4室とクラス100の手術室が13室の合計17室で構成されている。その他産科専用手術室2室（平成19年から閉鎖中）、子ども医療センター手術室2室が追加された。

#### （1）診療記録の電子化

平成14年の新棟移転にともない、病棟情報システム構築の第一歩として、まず麻酔記録の電子化が行われ（J-CAN：Jichi-Clinical Advanced Network System）、平成18年からは院内の電子カルテシステム（JUMP：Jichi Medical University Universal Medical Information Program）と連携しており、手術申込み、手術記録、保険情報記録、看護記録などがすべて一元管理となった。ただし物流システムとのオンライン化は行っていない。

#### （2）中央材料室

中央手術部に併設される形で中央材料室を備えており、医師2名（兼任）と専任の主任看護師を配置し、委託業者と共に手術機器の点検、消毒業務を行っている。

#### （3）先端医療機器の設置

現代の進化する手術に対応するべく、医療機器を毎年更新、整備している。手術室にはモニター用カメラが設置され手術室内の状況をコントロール・ルームで監視することができ、またこれとは別に手術野の映像をプラズマディスプレイに表示し、臓器移植手術の進行の調整や学生・研修医の教育、学会の発表などに用いられている。

### 3. 実績・クリニカルインディケーター

手術件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
H23年度	728	697	805	783	849	787	743
H24年度	749	776	777	747	815	686	797
H25年度	719	653	699	739	768	685	775
手術件数	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
H23年度	780	704	685	795	813	9,169	
H24年度	735	652	664	682	721	8,801	
H25年度	740	700	689	669	698	8,534	

### 4. 当部の置かれた状況と事業計画

手術件数の適正化はここ数年の継続課題であるが、平成25年度当初は手術件数が調整されたことにより結果的には手術関連収入の減少につながり、病院経営全体に影響を及ぼした。現行のDPC制度の中では収入における手術治療の占める割合は大きく、手術件数の増減は経営に直結している。

医師をはじめとした職員の負担軽減を考えながら、なおかつ病院経営という新たな課題についても配慮していく必要が出てきた。今後とも中央手術部の運営は病院運営全体を見据えていく中では重要な位置づけと言える。

幸い25年度下半期は手術件数の増加に転じており、これまで同様に様々な指標を注視する必要がある。